

にいがた創業応援団の運用状況

リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)
追加型投信／内外／資産複合

2022年3月23日

- リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)は第4期末2021年10月25日以来2022年3月14日までの基準価額は**10,476円**から**9,592円**となりました。
- この間、日米株式やJリートの下落が主なマイナス要因となりました。

岡三にいがた証券株式会社ならびに岡三アセットマネジメント株式会社は、2022年3月16日に、新潟県の起業・創業支援に役立てていただくことを目的に、信託報酬から新潟県に586万円の寄附を行いました。

【最近のパフォーマンス】

当ファンドは、第4期末2021年10月25日から2022年3月14日までに**基準価額が10,476円**から**9,592円**となりました。この間、**組み入れている4資産の価格すべてが下落**しました。4資産のなかでは**米国の株式や日本株式、Jリートが基準価額**の下落に大きく作用しました。

日米株式市場は、2021年12月末までは、米国の良好な経済指標が好感され、米国株式市場が史上最高値を更新する場面がありました。しかし2022年に入ると、米国の1月の消費者物価指数(CPI)が事前の予想を上回る結果となったことから、米連邦準備制度理事会(FRB)が金融引き締め姿勢を積極化させるのではないかと観測が強まったことに加え、2月下旬以降はロシアによるウクライナへの軍事侵攻が本格化し、地政学リスクが高まったことが懸念され、下落する展開となりました。

Jリート市場においてもウクライナを巡る地政学リスクの高まりを受けた投資家心理の悪化から上値の重い展開となりました。

【資産別構成比の推移】

当ファンドは、推計した市場リスク(推計市場リスク)の水準に応じて、ポートフォリオ全体のボラティリティが概ね年率7%程度となるように4資産の組入比率を調整する運用を行っています。

2021年11月中旬には、値動きの小さい日系外債の組入比率を引き下げた一方、他の3資産の組入比率を引き上げました。その後2021年12月中旬以降は、ウクライナ情勢を巡る地政学リスクの高まりなどから推計市場リスクが上昇したため、日系外債の組入比率を段階的に引き上げました。これまでの期間において、組入れを引き下げた日米の株式やJリートの価格は大きく下落しましたが、**組入比率を引き上げた日系外債においては、下落率が他資産と比較して低かったため、基準価額**の下落を抑える結果となりました。

基準価額の推移と変動要因



※グラフは第4期末(2021年10月25日)から表示しています。
※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

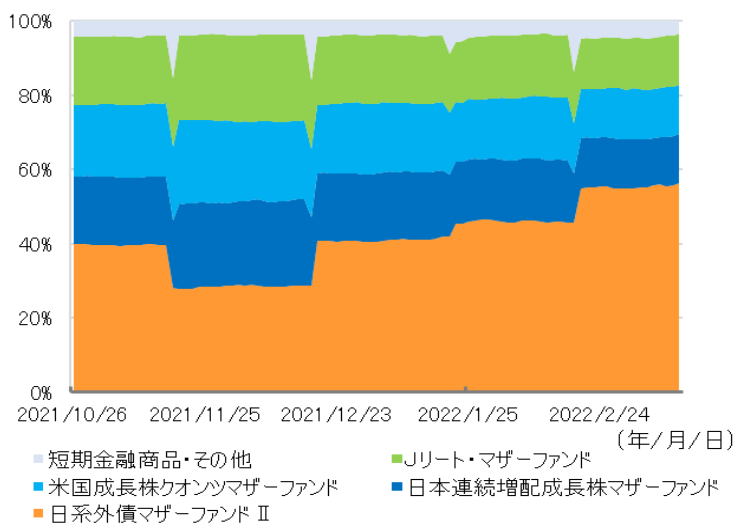
(2021年10月26日～2022年3月14日)

日本連続増成成長株マザーファンド	米国成長株クオンツマザーファンド	Jリート・マザーファンド	日系外債マザーファンドⅡ	その他	分配金(税引前)	信託報酬等
▲203円	▲285円	▲156円	▲59円	▲128円	-	▲54円

※各投資対象ファンド、分配金、信託報酬等に分けて1万口当たりで表示したものです。
簡便法により試算した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。また、円未満四捨五入の関係で合計が一致しない場合があります。
※その他は、主として為替ヘッジに伴う損益です。

各資産の組入比率の推移

(2021年10月26日～2022年3月14日 日次)



＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社で作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)
追加型投信／内外／資産複合

【各市場の今後の見通し】

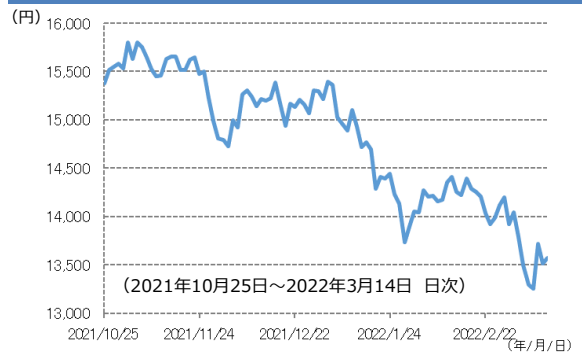
国内株式市場は、不安定な動きを予想します。米国における金融引き締め開始そのものは市場の不安定要因にはならないと思われるものの、引き締めペースは物価や景気の動向から読みにくい状況にあり、投資家心理に大きな影響を与える可能性があります。また、ウクライナを巡る地政学リスクも先行きが読みにくい状況です。ロシアに対する経済制裁が欧州経済やエネルギー・穀物市況等に悪影響を及ぼすことが懸念され、企業業績の先行き不透明感も高まっていることから、国内株式市場は不安定な動きを余儀なくされるとみています。

米国株式市場は、不安定な展開が予想されます。ロシアがウクライナに侵攻し、国際的な緊張が高まっていることに加えて、欧米がロシアに厳しい経済制裁を加えたことで世界的な経済活動の停滞につながることへの懸念が広がっています。また、FRBによる金融引き締めに対する不透明感も株価の上値を抑えたと想定しています。一方で、米国を中心に新型コロナウイルス新規感染者数は減少に転じており、サプライチェーンの正常化や経済活動の正常化への期待が株価を下支えすると考えています。

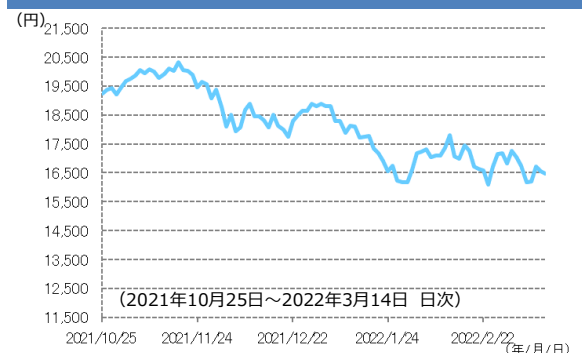
リート市場は、当面は変動幅が大きい展開を予想するものの、中期的には堅調に推移すると考えます。世界的なインフレ率上昇を受けた利上げ観測の高まりや地政学リスクの高まりによる投資家心理の悪化で、短期的にリート市場も変動幅が大きくなる場面があると見ています。しかし多くのリートで売却益や内部留保を活用して減配幅を小さくする姿勢を見せており、利回り商品としてのニーズが投資口価格を下支えすると考えます。中期的には経済活動正常化による業績改善を受け堅調に推移すると考えます。

欧米主要国の国債市場は、利回りの上昇（債券価格の下落）に歯止めが掛かると予想します。ウクライナ情勢は予断を許しません、人道的危機について国際世論の批判が強まっていることもあり、ロシア側もいったんは強硬姿勢を緩め、停戦交渉が進展すると思われる。このため、エネルギー資源価格が軟化し、債券に買い戻しが入る場面があると見ています。ただ、資源価格高騰への懸念が和らいでも、依然として欧米主要中央銀行の金融引き締め姿勢が見込まれるため、当面は利回りの低下（価格の上昇）も限定的と考えています。**スプレッド（国債との利回り差）については、徐々に縮小に向かうと予想します。**地政学リスクの緩和等を背景に、投資家の利回り選好が回復すると見込んでいます。また、発行体企業の信用力が比較的安定していることも、スプレッドの縮小を促すと考えています。

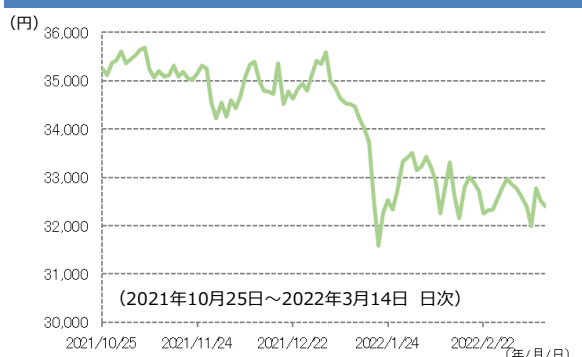
日本連続増配成長株マザーファンド 基準価額の推移



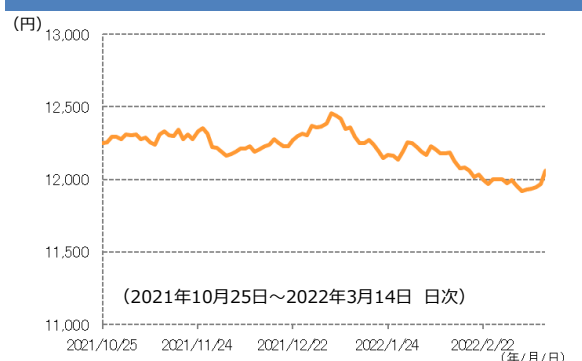
米国成長株クオンツマザーファンド 基準価額の推移



リート・マザーファンド 基準価額の推移



日系外債マザーファンドⅡ 基準価額の推移



※基準価額は1万口当たりです。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)
追加型投信／内外／資産複合**
リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)に関する留意事項
【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内の株式、米国の株式、米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券、国内の不動産投資信託証券等の値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、米国の株式については、為替相場の変動により損失を被ることがあります。米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券については、原則として為替ヘッジを行います。為替変動リスクを完全にヘッジすることはできません。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「金利変動リスク」、「不動産投資信託リスク(価格変動リスク・分配金(配当金)減少リスク)」「劣後債のリスク」があります。その他の変動要因としては、「信用リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」、「不動産投資信託証券のその他のリスク(信用リスク、業績悪化リスク、自然災害・環境問題等のリスク、法律改正・税制の変更等によるリスク、上場廃止リスク、流動性リスク)があります。
 - 劣後債への投資には「弁済の劣後」、「繰上償還延期」、「利息の繰り延べまたは停止」、「制度変更等によって不利益を被る」等の可能性があり、リスクは普通社債への投資と比較して相対的に大きいものとなります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.375%（税抜1.25%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>
フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)